

「鹿島の再生可能エネルギーへの取り組み」

化石燃料のほとんどを海外からの輸入に頼る我が国にとって、風・太陽・水といった自然の力を利用する再生可能エネルギーは、エネルギー安定供給の観点からも大変注目されています。さらに、2012年7月には、「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」もスタートし、新たなエネルギーの普及・拡大に取り組む機運が社会全体で高まっている中、当社においても、再生可能エネルギーに関連したプロジェクトを多数展開しています。

「風」

2013年1月、千葉県銚子沖3kmの海上に、国内初の着床式沖合洋上風力発電設備が完成しました。これは、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）と東京電力が行う共同研究のための設備で、3月からは、本格的な実証運転が開始されています。

世界有数の海洋国である日本では、その立地ポテンシャルを活かした洋上風力発電が有望視される中、当社はこのプロジェクトにおいて、基礎構造の研究開発と設計・施工、洋上風車本体、および風況観測タワー本体の建設を担当しました。我が国初となるビッグプロジェクトを成功へと導いた当社の技術力は、日本特有の厳しい気象・海象条件のもとで、洋上風車の建設を実証。未来の洋上ウィンドファーム構想に向けた重要な一歩となることが期待されています。



「光」

現在、当社が所有するゴルフ場「那須ちふり湖カントリークラブ」に隣接する約3haの社有地に、約2MWの太陽光発電設備を設置し、発電電力の全量を売電する太陽光発電事業の実施に向けた準備を進めています。これまで当社は、様々なエネルギー分野で設計や施工等の実績を積み重ねてきましたが、太陽光発電事業として売電を行うのは初めてとなります。

本事業の実施により、太陽光発電事業運営に関する技術・ノウハウを蓄積し、従来対応してきた設計・調達・施工とあわせて、太陽光発電事業のトータルソリューションの提供を目指します。

「水」

かつて、日本の主要な電力供給源であった水力発電は、我が国の地理的条件からも、最も期待される再生可能エネルギーの一つと考えられています。ダム新設適地が限定されている中、今後は、既存のダムにおける新たな発電機能の付加や発電能力の増強といったダムのリニューアルが期待されます。当社は、これまで数多くのダム建設に携わってきましたが、ダム堤体を嵩上げし貯水容量を増やす技術（山王海ダム）や既設堤体に穴を開けて放流管を増設し利水容量を増やす技術（奥只見ダム）等、新設工事だけでなく、既設ダムのリニューアル工事も多数手掛けています。

当社では、エネルギーに関する様々なニーズに対応できるように技術開発に取り組み、地域特性に応じた再生可能エネルギーのあり方を研究し、社会に貢献してまいります。